



ぽっかぽか 9月

きりん・そう組



今年の夏は去年に比べて暑い日が多く、温度計が30度が超える事も多かった夏でした。子ども達は、眩しい太陽が降り注ぐ中、プールに入るととても気持ち良さそうにプール遊びを満喫していました。しかし、気づけば楽しかったプールも残り少なくなってきました。プールの約束である①おさない ②かけない ③飛び込まない ④大人の話をきちんと聞く、この4つを最後まで守って楽しく活動していきたいと思います。

年少さんのプール遊びの目標は「水に慣れ親しむ」「水に顔をつけてみる」という2つでした。

年少さんは、初めての大きなプールに最初は少し緊張するかと思いきや、1週間も経たない間に、自分達から水を顔に掛けたりワニ泳ぎをする子もいて大人はびっくりさせられました！もちろん、水しぶきが顔にかかるのが苦手な手で覆ったり、プールの外に顔を向ける子もいましたが、水を手ですくってブクブクと息継ぎの練習をしたり、水中にあるおはじきを探すゲームなどの活動を繰り返していくうちに、今ではすっかりと水と仲良しに！「見ててね～」と嬉しそうに水面に顔を付けたりと、潜ってみたりと一人一人成長の度合いが違いましたが、プール遊びを楽しんでいました。

年中さんのプール遊びの目標は「水に顔をつけて、泳いでみる」でした。

水がかかるのは平気だけど、顔を水面につけるのが怖い。という子が多く見られた年中さん。そこで、顔を洗う⇒手で水をすくって水面でブクブクと息継ぎをする⇒手で水面を作って目を閉じて顔を付ける⇒手で水をすくわずに顔を付けてみる、というようにスモールステップで課題を作って練習していきました。最初は怖がっていた子も顔を水につけるようになり、「10秒頑張る」と新たな目標を決めてました。8月に入ると、ビート板を使ってパタ足で進む練習をしたり、水に顔を付けられる子は「けのび」など泳ぐ練習をしています。大人がやり方を伝えるとすぐに吸収して自由遊びの時間でも自分から練習したいと言ってできるようになると、何度も見せてくれました。



運動会について

運動会に向けて、踊りやかけっこの練習が始まります。年少さんは遊びの中で無理なく楽しく練習していけるようにしたいと考えています。プール前の体操では身体の部位を意識して動かしたりと意欲的に体操に参加しています。年中さんは、「目指せ宝島」が踊れる！という事でとても張り切っています。お楽しみに！
10/6(土)東落合小学校の体育館で行います。「詳細は後日プログラムで確認下さい。

年少さんの様子

①自立へのステップアップ

「自分で着替える」「最後まで自分で食べる」「トイレに行って排尿する」という目標を4月にたてて生活してきました。大人が自分でやれるような環境を整え、できた所を見逃さず褒め、困っている時はそっと手伝ったりと子ども達1人1人の発達に合った対応を心掛けてきました。夏が過ぎた頃から殆ど着替えは1人で行えるようになり、脱いだ服は丁寧に畳む、服の前後を間違えずに着るなど細かい部分にも気付けるようになってきました。食事では、食べ終わったら食器を重ねる、3点持ちでスプーンを持って食べるなど頑張っています。月齢など個人差はありますが自立に向けて確実に成長しています。

②一緒に遊ぶために

言葉が増え、自分の気持ちを言葉で伝えようとする事が増えてきた年少さん。友達と一緒に遊ぶことが楽しいようで、2~3人で遊ぶ場面が増えてきました。年中さんが行っている再現遊びにも興味津々。年少さんだけになると、待っていましたと言わんばかりに「ケーキ屋さんやる」「いらっしやいませ」などお店さんになりきり遊んでいます。この再現遊びは自分の役割をきちんと全うしなければ遊びが持続しません。なので時には我慢するという場面も出てきます。それが自分の気持ちをコントロールするという事に繋がり、「こういう時はこうすれば友達と一緒に遊べるんだ」「一緒に遊びのは楽しい」という学事を自然と学んでいくのです。年少さんも最初は「私が」「僕が」という事が多かったのですが、繰り返し行っていくうちに「今はやってるから待ってね」「順番にやるうね」など子ども同士で役割を交代する場面もあるほど成長しています。

年中さんの様子

年齢別活動の目的:「年長さんに向けての準備」

① 日中の活動『年中同士の交流』今までは、クラス単位で活動する事が多く隣のクラスと関わることは少なかったのですが、今回、一緒に活動することでクラスの壁を越えて関わる事ができ、子ども達自身も会う度に嬉しそうにしています。また、活動の幅が広がりました。その中でも簡単な体操(前ならえ、体操座り)では、体の使い方や力の入れ方などを大人を見て真似しながら学びました。徐々にできるようになると、子ども達自身に見本となりました。すると友達のカッコいい姿をみて、自分も見本になりたい！という意識から一生懸命に取り組む姿が見られるなど、友達から刺激を受けて行動する子も増え、拍手を受けた子は自分ができていることを認めてもらう機会となりました。また、お集まりや食事の際に「こうやって座るんだよね！」と姿勢よく座るなど体操の成果も見られるようになりました。

②食事「食事の準備・片付けは子ども達で！」

食事は、お当番さんと自分達で用意し、食べ終わった子から片付けています。この狙いとしては、子ども達自身に準備や片付けををしてもらうことで食器の取り扱い方を知ったり自分の事は自分でするという意識をもってもらう為です。この活動を始めた頃は、お茶をこぼしてしまったり落として割ってしまうこともありましたが、そこで、食器の持ち方(茶碗は手を広げて底から包むように持つ)を伝えたり、片付ける際も食器が割れない置き方(音がならないように両手で持って静かに置く)も伝えたりと、意識して丁寧に食器を扱えるようになりこぼしたり、落として割ることは減りました。具体的な内容↓

①お当番さん⇒テーブル拭き、お茶のコップ、スプーンとチューブ、おかずの皿を机へ運ぶ

②各自⇒ごはん、汁物の茶碗を運び、食べ終わった食器を片付ける。

